

第 46 回東海陸水談話会(10 月 10 日)を開催しました

第 46 回東海陸水談話会は、10 月 10 日(金)18 時から椋山女学園大学教育学部理科室にて、17 名の参加者を得て開催いたしました。話題提供者の大西健夫先生(岐阜大学)からは、演題の「伊勢湾流域圏・木曾三川流域における水文環境と気候変動」に沿った以下 3 つの研究成果を紹介していただきました。

1. SWAT (Soil Water Assessment Tool) を使用したモデル研究

Onishi, T., Yoshino, J., Hiramatsu K. and & H. Somura (2020) Developing a hydro-chemical model of Ise Bay watersheds and the evaluation of climate change impacts on discharge and nitrate-nitrogen loads. *Limnology*, 21: 465–486.

<https://link.springer.com/article/10.1007/s10201-020-00622-2>

2. 伊勢湾流域圏における過去 2600 年間の水文環境の数値シミュレーション

3. 長良川流域の水温環境と将来の土地利用変化

それぞれ 1 つの研究成果が、談話会 1 回分に相当するような大きな成果であり、とても濃密な学びの時間となりました。最初から最後まで、大西先生と参加者との熱い質疑応答が飛び交い、終了後は、充実した野外調査を終えた時のような爽やかで心地よい疲れを感じるほどでした。ご講演を終えた大西先生からは、「(かつて在籍された)総合地球環境学研究所でのセミナーを思い出しました。」「陸水学会東海支部会がこんなに楽しい雰囲気のある会であるとは知りませんでした。」「今日、(東海支部会への)入会を決めました。」との感想をいただきました。最後に大西先生を囲んで参加者一同で集合写真を撮影してお開きとしました。大西先生からは、当日の発表スライドの PDF ファイルを提供していただきました。支部会 web site 等に掲載いたしますのでぜひご覧ください。

本談話会は、土木学会認定 CPD プログラムとして行われ、参加者には 1.9 単位が認定されました。当日、参加された方で集合写真をご希望の方は、談話会担当者の野崎健太郎まで E-mail にて連絡をいただければ送付いたします。

野崎健太郎(椋山女学園大学教育学部)

E-mail: ken@sugiyama-u.ac.jp



大西先生の発表の様子



終了後の記念撮影